

R6 年度下半期の主な事業の取組について

【文化創造推進課】

1 第2回「はちのへアート広場」ひろば交流会の開催

○テーマ：（仮）地域に根付く伝統芸能について

日時 年内

会場 未定

内容 当市には、ユネスコ文化遺産に指定された「八戸三社大祭の山車行事」や、国の重要無形民俗文化財に指定された「八戸えんぶり」のほか、鮫神楽や法霊神楽等歴史ある祭や伝統芸能が地域に息づき、多くの市民の関わりの中で大切に維持・継続されている。

これらの伝統芸能について、受け継ぐ者の育成を図るための取組や、参加の輪を広げる仕組みづくりに向けた取組などについて話を伺い、次代への継承について考える。

コーディネーター 太下委員長

パネリスト（案）神楽関係者、えんぶり関係者、一般財団法人 VISIT はちのへ ほか

参加対象者：伝統芸能関係者、文化活動団体、学校関係者等

2 第3回「はちのへアート広場」ひろば交流会の開催

○テーマ：未定（これまでのひろば交流会のまとめ）

日時 R7 年 2 月

会場 未定

3. 石見神楽～八戸公演～

概要 三陸国際芸術祭の開催を機に、国内他地域の芸能に触れることで、地域性・風土の違いなど、芸能の成り立ちについて学ぶ機会とし、芸能団体の意欲向上及び伝統芸能の新たなファン獲得に繋げることを目的とし、日本遺産に認定されている石見神楽公演を開催する。

開催日時 令和6年10月19日（土） 昼の部 13：30～ 夜の部 18：00～

料 金 一般 1,000 円 高校生以下 500 円

会 場 SGグループホールはちのへ（八戸市公民館ホール）

4. 八戸南部氏庭園「秋の開園」

概要 藩政時代の庭園芸術を今日に伝える「八戸南部氏庭園」を多くの方々に鑑賞して頂くため、庭園内樹木の紅葉の時期に合わせて開園する。

開催日時 令和6年10月24日（木）～10月31日（木） 10時～16時

場 所 八戸南部氏庭園（売市四丁目 23-3）

観 覧 料 無料

5 生活文化創造都市フォーラム「八戸地域会議」の開催

概要 地域独自の文化に根差した市民の活発な創造活動こそが豊かな生活文化を育み、産業の振興にもつながるとの考えのもと推進している事業で、地方都市においてフォーラムを毎年開催。

主催 一般社団法人日本ファッション協会

共催 八戸市 八戸商工会議所

テーマ 本のまち八戸

日時 令和7年1月23日（木） 14:00～16:30

会場 はっち1階 はっちひろば

講師等 基調講演 大阪市立大学名誉教授 佐々木雅幸氏

パネルディスカッションコーディネーター 横浜市立大学大学院客員教授 野田邦弘氏

パネリスト 文学創造都市岡山推進委員 ほか

参加人数 100人程度

6 日本文化政策学会第18回年次研究大会の開催

概要 日本文化政策学会は、文化政策研究の発展と普及及び、文化政策研究に関心を持つ人々の交流を図るために平成19年に設立され、研究大会の開催、学会誌の刊行などを行っており、今年度は八戸市において開催するもの。

主催 日本文化政策学会

共催 八戸市

テーマ 未定

日時 令和7年3月15日（土）、16日（日）

会場 八戸市美術館、はっち、八戸市公会堂

参加人数 100人程度

令和 6 年度下半期の主な事業（ブックセンター）

「元気な八戸づくり」市民提案制度企画・「本のまち八戸」魅力創出事業

(1)開催日

令和 7 年 2 月 9 日（日）

(2)会場

SG GROUP ホールはちのへ（公会堂）

(3)開催内容

- ・ 池上彰さんスペシャルトーク
- ・ 図書館によるリサイクルブックフェア
- ・ 「本のまち八戸」や図書館 150 周年記念に関連したパネル展
- ・ おはなし会

※「元気な八戸づくり」市民提案制度とは・・・

まちづくりや地域課題の解決のため、市民の皆さん（提案者）と市（行政）が協働して取り組むことにより相乗効果が期待できる事業の提案を募集し、協議を経て実践する取り組みで、今回の事業は八戸市読書団体連合会と市（ブックセンター、図書館）が協働して開催するもの。

令和6年度下半期の主な文化芸術施策の取組（はっち）

1. パフォーミングアーツ公演事業

公演内容	公演日程	アウトリーチ（出張ワークショップ）
① タテヨコ企画 演劇「谷繁2」	9/7（土）8（日） 入場者数：71名	9/4日（水）鯨中学校1年生 38名
② PANCETTA（パンチェッタ） 演劇「声」	12/7（土）8（日）	12/4（水）、5日（木） 北稜中学校1年生 65名
③ アトリエ・センターフォワード 演劇「演劇落語～宿屋の仇討ち・抜け雀～」	2025年 3/1（土）2（日）	未定



PANCETTA



アトリエ・センターフォワード

2. はっちアーティスト・イン・レジデンス 2024 人間ノリ巻き in 八戸

（1）滞在アーティスト

今井さつき

（2）テーマ

人間ノリ巻き in 八戸

～サバからせんべいから高山植物まで！八戸の皆さん 巻かさってください！～

（3）実施概要

八戸に滞在して見つけた八戸の魅力を「人間ノリ巻き」の「具材」として作ります。布で作ったりプリントした布を塗ったりしながら、食べ物だけでない八戸の魅力を具材として作品化し、市民を「巻き込み」、「人間ノリ巻き」を完成させる。また、南部地方独自の巻き物「菊巻き」についてもリサーチする。

（4）滞在期間等

第1期 5月15日（水）～7月2日（火）

八戸を食べる・歩く・見る

第2期 10月26日（土）～11月4日（月・祝）

菊巻きのリサーチ

第3期 1月中旬～2月中旬

成果発表展



令和6年度はっち下半期実施事業（主なもの）

月	日	内容	会場	特記事項
10月	14日	マチニワイイベント支援事業 「脳卒中と秋祭り」	マチニワ	
	18日	FRIDAY LIVE！	はっち	以降 ほぼ月1開催
	20日	はちのへホコテン（高校生企画）	中心街	
		まちぐみ ものづくり体験まつり	はっち	
11月	2日 ～4日	暮らし学アカデミー 「オリジナル菊人形菊挿し体験&製作者 にお話をお聞きしよう」	はっち	講師：鍛冶町菊友会
	3日	マチニワイイベント支援事業「tette」	マチニワ	
	4日	DANCE CARAVAN IN AOMORI	はっち	ビッグ・アイ主催
	9日 ～10日	マチニワイイベント支援事業「麦の市」	マチニワ	
	21日・ 28日	暮らし学アカデミー 「男・本気のパン教室 ～デニッシュ生地 編～」	はっち	
	23日 ～24日	暮らふとマーケット 2024 ～全国から65店が出店するクラフト市～	はっち・マチニワ	
	30日 ～12/25	はっちのクリスマス	はっち・マチニワ	
12月	1日	はっちがずっぱど南部弁	はっち	
1月	2日 ～3日	はっちのお正月	はっち	
2月	17日 ～20日	えんぶり in はっち	はっち・マチニワ	
	未定	はっち放送部 制作ラジオ番組放送	BeFM	
3月	1日 ～16日	まちぐみ展	はっち	

八戸市美術館の下半期の主な事業の予定について

1. 展覧会及びプロジェクトについて

(1) 展覧会

①企画展「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」

学校教育のなかに版画を広めた「教育版画運動」。八戸では、坂本小九郎の指導の下、1950年代～1970年代にかけて実践された教育版画が、国内外で高い評価を受けた。

本展では、当館が所蔵する八戸での教育版画作品を中心に、八戸の教育版画が生まれる礎となった青森県内の版画教育の実践を紹介。

また、招聘アーティストとともに市内の子どもたちが制作した作品を展示。

■会期：令和6年10月12日（土）～令和7年1月13日（月・祝）

■展示作品：八戸市美術館・青森県立郷土館・五所川原市教育委員会所蔵の教育版画ほか

■招聘アーティスト：THE COPY TRAVELERS(ザ・コピートラベラーズ)

■主催：八戸市美術館



湊中学校養護学級生徒《虹の上をとぶ船総集編Ⅱ
星空をペガサスと牛が飛んでいく》



江陽中学校生徒《竜骨》



THE COPY TRAVELERS

ワークショップより

②八戸アーティストファイル展（仮）

八戸圏域に在住、または出身の表現者を紹介する展覧会で、出展する表現者は、市内の民間画廊やギャラリー、画材屋、私立美術館など、表現者をよく知る地元文化人が推薦者・審査員となって選定する。これまで、地元で紹介されることが少なかった出身表現者を、今回、美術館として取り上げることで、広く八戸のアートシーンの「今」を紹介する。

■会期：令和7年2月15日（土）～4月7日（月）

■出展者：8名（地元在住6名、出身者2名）

■主催：八戸市美術館

③コレクションラボ

八戸市美術館の収蔵作品の中から厳選した作品を、毎回テーマを設定し、展示に合わせた実験的なプログラムを行いながら、展示入替の期間を除き通年で展示することで、多彩なコレクションに気軽に触れられる機会を提供する。

展覧会名称・会期	内容
009「リビングルーム」 令和6年11月2日（土）～令和7年2月24日（月）	家具を置いてリビングルーム風にした展示室に、収蔵作品を展示し、暮らしの中に美術を取り入れるこ

	とを提案する。
010「西野こよ展（仮）」 令和7年3月1日（土）～6月中旬	令和6年度新規収蔵作品「西野こよ」の展覧会。

④展覧会スケジュール

「いつでも美術作品の展示が見たい！」というお客様の声にお応えするため、展示替え期間中もいずれかの展覧会を開催するように工夫。多くの方々が気軽に美術作品に触れられる機会を提供。

	10	11	12	R7.1	2	3
企画展		教育版画展				Artist File
コレクションラボ	彩る書	リビングルーム				西野こよ

（２）プロジェクト

①アートファーマープロジェクト

美術館の企画や運営に能動的に関わる市民スタッフの「アートファーマー」と美術館スタッフが一緒に、美術館での学びを活かして、アーティストとの共同創作活動や来館者へのガイドなど、美術館と人、作品と人、人と人をつなぐ様々な取組を展開する。

プロジェクト名	内容
建築ツアーガイド 毎月第4土曜日 11:00～、13:00～	アートファーマーの個性を活かしたガイドで八戸市美術館の建物の魅力を来館者に伝える。ガイド役と来館者との会話が弾む、双方向型のガイドツアー。
あそらぼ！ ep3※ 開催日：令和6年12月21日（土）～ 令和7年1月6日（月）※休館日除く 準備日：6月～12月（7回開催）	映像作家・マーティー松橋を中心とした遊びのイベントを開催予定。一緒に運営するメンバー＆クラフターメンバーを募集し、チームで制作を進めている。
美術館広報部（4回目）※ 日時：令和6年10月19日（土） 10：15～12：30 活動日：通年、毎月1回（開始：7月～）	美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、体験を通して展覧会や美術館等を SNS 等で発信する。メンバーによる、ガイドブックの作成を行う。 10月19日の講師：八戸市在住のライター・栗本千尋氏

※中心街での中高生の活動場所にもなるよう、新規・拡充したもの。

②学校連携プロジェクト

小・中・高校の教員、美術館の学芸員、専門家が「学校連携プロジェクトチーム」をつくり、子どもたちの力を伸ばして自ら新しい価値をつくり出せる人を育むために、美術館を活動拠点に、学校の授業で役立つツールやプログラムづくりのほか、学校教育だけでは実現できない取組を行う。

事業名	内容
学校連携プロジェクト会議（全3回） 2回目：令和6年11月21日（木） 3回目：令和7年2月予定	プロジェクトメンバー（小中高教員、美術教育専門家、美術館スタッフ）による会議。 活動内容の検討や授業で活用できる研修等を行う。 主な案件一はみ出す力展について

はみ出す力展 Vol.6 図工・美術の授業展 日時：令和7年1月23日(木)～ 令和7年1月26日(日)	全国の教員らが図工・美術の授業を展示する展覧会。 今年度は、事務局から依頼があり八戸市で開催予定。 当市からは、学校連携事業の取組を紹介する。
美術館新聞部プロジェクト 令和7年3月発行予定	小中学生と高校生が、新聞をつくるプロジェクト。昨年度に続いて展覧会やアーティスト、近隣の店舗取材し第4号を発行する。

2. 「風のなかを飛ぶ種子」出張授業について

展覧会開催中、希望する小中高校へ出向き、出張授業を行う。

授業を行うことで、郷土の美術作品について学ぶ機会や美術館へ足を運ぶきっかけとしたい。

対象校：10校程度

募集期間：～10月末頃

実施期間：令和6年11月1日（金）～令和7年1月10日（金）

内容（例）

1. 美術館の紹介
2. 対話鑑賞
3. 教育版画運動の説明
4. 作品解説
5. まとめ

3. 八戸市美術館開館3周年特別企画について

（1）3周年アーカイブ展

八戸市の「アートのまちづくり」及び八戸市美術館のビジョンをあらためて伝える機会として、展覧会とプロジェクトを両輪に展開してきた当館（アートファーム）の軌跡を追うアーカイブ展を実施する。映像・写真のテクニカルコーディネーター神智のアーカイブ展。

日時：令和6年11月1日（金）～11月18日（月） ※始期は予定日

（2）「虹の上をとぶ船」学芸員トーク&haruka nakamura ピアノ・インスタレーション」

「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画展」に関連する音楽イベントを開催。

学芸員による「虹の上をとぶ船」シリーズをはじめとした教育版画の物語を語るトークと、作品から想起される音楽を即興で奏でる、青森県出身の音楽家・haruka nakamura（はるか・なかむら）を招聘し、ピアノ・インスタレーションを展開する。

日時：令和6年11月9日（土）19:30 開場、19:45 開演

対象：展覧会チケットをお持ちの方

定員：50名（要予約）

《参考》 haruka nakamura（はるか・なかむら）青森市出身

- ・OCN、ポカリスウェットなどのCM音楽のほか、NHKドラマなどの音楽も手掛ける
- ・2022年青森県立美術館「ミナペルホネン/皆川明 つづく」展において、音楽展示を担当
同展覧会のフィナーレを彩る公演として、即興によるピアノ演奏をアレコホールで実施

4. 大学資産を活用したアートの学び事業（大学・高専連携プロジェクト）

市内の大学・高専が有する専門性と美術館の専門性を掛け合わせて、社会人と学生と一緒に学び、社会で実践できるプログラムを展開する。また、子育て世代、障がい者や高齢者など、誰もが美術館を利用しやすい環境づくりなど美術館のアクセシビリティを高める取組を行う。

（1）三校連携「創作体験ワークショップ」（全3回）

	日 時	講師	場所
第2回	令和6年11月9日（土） 10：30～12：00	八戸工業高等専門学校 校長 土屋範芳	ジャイアントルーム
タイトル：ブリリアント・ミネラル 実施内容：石をスライスして、顕微鏡で観察する			
	日 時	講師	場所
第3回	令和6年11月3日（日） 第1部 13：00～14：00 第2部 14：30～15：30	八戸工業大学 助教 桶本 まどか	スタジオ
タイトル：音のなる絵本を創ろう 実施内容：パソコンを使い絵本に音楽をつけて、音のなる絵本を作成する。			

（2）学生×社会人のアートの学び実践講座事業

講座名：アクセシビリティ向上実践会議（全3回）

講 師：東京都庭園美術館 学芸員 大谷 郁 氏

日 時：第1回 10月18日（金）18：30～20：30

第2回 11月16日（土）13：30～15：30

第3回 12月 7日（土）13：30～15：30

内 容：第1回 誰もが利用しやすい美術館とは？

アクセシビリティの基本的な考え方を学びます。

第2回・第3回 美術館の利用しやすさを考える

車椅子を利用する方や外国人の方の思いを聞き、「利用しやすくするための案」をみんなで考えます。

（3）美術館のアクセシビリティ向上事業

- ・保育士を目指している学生による「託児スペース」開設。（全6回）

開設日： 令和6年10月14日（日）、11月3日（日）、12月22日（日）、

令和7年 1月26日（日） 開設時間：10：00～16：00

- ・保育士を目指している学生による展覧会鑑賞時のサポート及び託児サービスの提供。

開設日：12月26日（木）、2月26日（月）（全3回） 開設時間：10：00～13：00

5. 共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業（「元気な八戸づくり」市民提案事業）

文化的視点で街の良さや楽しみ方を市民に再認識してもらうことで市街地活性化につなげることを目的として、八戸歴史文化発信事業実行委員会（理事長 小倉 学）との協働により、歴史・文化・芸術などの活動団体・個人を八戸市美術館の「共創パートナー」として募り、連携を図りながら文化的な財産・スポットとして広く発信するもの。

- （1）「ヨッテミッテ」公式LINEでの情報発信（令和6年7月～情報発信 週1回）

- (2) 街なかアートマップの作成 (11 月頃 完成予定)
- (3) 共創パートナーミーティング (令和 7 年 2 月頃)

【令和 6 年度下半期 社会教育課 主な事業】

※施策4 のこす・いかす～伝統の継承と活用～ 取組方針2 地域に根ざす文化の継承と発展

※施策5 つなぐ・ささえる～担う人・支える人の確保・育成～ 取組方針1 専門人財の確保、育成

1 民俗芸能のタベ

八戸に古くから伝わる民俗芸能の団体に発表の場を設け、技芸の技術向上や活動の活性化を図るとともに、市民が民俗芸能に触れる機会を創出することで興味関心を促し、後継者の育成と民俗芸能の保存・伝承に貢献する。

○第 47 回 民俗芸能のタベ

日 時 令和 6 年 11 月 30 日(土) 13:30～

出演団体 靄神社法霊神楽保存会 靄神社の雅楽と笹の葉踊り 妙えんぶり組 湊虎舞保存会

※施策4 のこす・いかす～伝統の継承と活用～ 取組方針3 文化財の保存と活用

※施策6 あつめる・ひろめる～連携のソフトインフラ～ 取組方針2 青森県や近隣自治体との広域連携の推進

2 八戸圏域文化財魅力発信事業「文化財バトルカード」

八戸市と近隣の7町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）に所在する指定文化財のほか、指定外の遺跡や伝統工芸品などを紹介するカード。コレクションやゲームで遊びながら文化財にも興味を持ってもらい、併せて圏域内の魅力を再認識し地域の活性化を図ることを目的としている。令和4年度から各市町村の担当で構成されるワーキンググループで準備を開始し、令和5年7月からバトルカード配布。

1) 文化財バトルカード増刷・職作成

2) 圏域内各市町村イベント等における体験ブースの設置

町民文化祭、産業まつりなどの地域のイベントや、文化財関連イベント(県主催のフェア、民俗芸能のタベなど)におけるカードバトル体験ブースや、カード配布コーナーの設置。

3) 動画作成

バトルカードの遊び方やルール解説の動画の作成とHPでの公開。

<文化財バトルカード>

○42 枚のカードで構成。40 枚は各市町村(八戸市 12 枚、町村 4 枚×7 町村)、2枚は圏域全体(ニホンカモシカ&ニホンジカ)。

・バトルに用いるノーマルカード 32 枚。

→文化財の種類による「天・地・人」の区分、能力値(指定、推し、レア、時代)

・能力値をコントロールするスペシャルカード 10 枚。

→SS(特別天然記念物ニホンカモシカ)、S(自治体一押し文化財)、D(ニホンジカ)

令和 6 年度下半期の主な事業予定について

(1) 企画展示

○秋季企画展「合掌土偶国宝指定 15 周年記念-合掌土偶ができたころ-」

合掌土偶国宝指定 15 周年を記念して、風張(1)遺跡をはじめとする縄文時代後期の遺跡とその出土品を紹介し、合掌土偶をつくったころの縄文人のくらしの様子に迫る。

開催期間:10 月 5 日(土)~11 月 24 日(日)

併催行事:企画展考古学講座

日時:10 月 26 日(土) 14:00~16:00

演題:「風張(1)遺跡をめぐる縄文土器の象徴的世界」

講師:中村 耕作氏(国立歴史民俗博物館研究部 准教授)

ギャラリートーク(開催期間中の毎週土曜日)

縄文しおり作り(10 月 13 日(日))、縄文プラ板ストラップ作り(11 月 10 日(日))

○冬季企画展「縄文・かたちの美ー是川遺跡の石器・石製品ー」

是川遺跡出土品を紹介するシリーズ展示の第 6 回。石器・石製品を中心に紹介する。

開催期間:12 月 14 日(土)~令和 7 年 3 月 23 日(日)

(2) 教育普及

○是川縄文館サポートスタッフ研修会(後期 6 回)

学芸員による解説のほか、外部講師による座学、日帰り研修ツアーを実施

開催期間:令和 7 年 1 月 11 日(土)~2 月 22 日(土)

○これかわ考古学クラブ

考古学と縄文時代について学ぶ体験型クラブ(小学5年生~中学3年生対象)

開催日:10 月 5 日(土)、12 月 7 日(土)、令和 7 年 2 月 1 日(土)

○考古学講座(後期)

遺跡や考古学について学ぶ講演会

開催日:12 月 14 日(土)、令和 7 年 1 月 18 日(土)、2 月 8 日(土)

○縄文土器作り講座

土器作りから野焼きまでを行う体験型講座

開催日:10 月 12 日(土)、10 月 19 日(土)、令和 7 年 3 月 22 日(土)

○日曜日縄文体験コーナー

開催期間:10 月 6 日(日)~令和 7 年 3 月 30 日(日) ※11月~3月は開催時間 1 時間短縮

実施内容:火起こし、土器の文様拓本、土製耳飾り作り、編布、土器・土偶作り、勾玉作り

○土曜日体験教室

開催日:11 月 23 日(土・祝)、令和 7 年 3 月 1 日(土)

実施内容:ドングリで縄文クッキング(11 月)、縄文土偶作り(3 月)

○是川遺跡クリーンデー

遺跡保護意識の醸成を図るための市民公募型遺跡清掃活動

開催日:10月25日(金) 10:00~

場所:是川遺跡周辺

○松ヶ崎遺跡現地説明会

開催日:10月19日(土)

実施内容:現地説明会(10:30~11:30、14:00~15:00)、出土品展示(10:00~12:00、13:30~15:30)

○遺跡調査報告会

開催日:11月9日(土)

実施内容:調査報告(14:00~16:00)、出土品展示(9:00~16:30)

(3) 埋蔵文化財発掘調査

○埋蔵文化財発掘調査

- ・個人住宅建築等に伴う試掘調査・本発掘調査
- ・長芋作付けに伴う本発掘調査(松ヶ崎遺跡)

○埋蔵文化財調査報告

- ・八戸北インター第2工業団地建設事業に伴う発掘調査報告書
- ・県道沼館三日町線改築事業に伴う八戸城跡発掘調査報告書

(4) 是川遺跡の整備活用

○史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業

- ・史跡是川石器時代遺跡第1期整備工事地形造成等(8月~継続)
- ・縄文学習館休館及び史跡是川石器時代遺跡部分閉鎖(継続)

○世界遺産の保存と活用

- ・世界遺産登録PR バスラッピング掲出(継続)
- ・JR 新大阪駅、JR 名古屋駅のデジタルサイネージに広告掲載(10月)

(5) 資料収蔵管理

○資料保存修理

是川遺跡出土の漆製品6点の修理及び台座作成(5月~継続)

○収蔵資料整理

収蔵資料のデータベース登録・再整理・再収納(4月~継続)

(6) 広報・情報発信

○図録等刊行

- ・秋季企画展図録
- ・「研究紀要」第14号

(7) 八戸縄文保存協会と連携した活動

○第9回是川縄文の里 俳句大会

是川縄文の里に対する市民の関心を喚起するため遺跡や是川地域を題材にした俳句大会を開催

募集期間:8月1日(木)~9月30日(月) ※受付終了

表彰式:11月24日(日) 13:30~(「一般の部」「中・高校生の部」「小学生の部」それぞれ5位までを表彰)

○是川縄文の日

開催日:11月3日(日・祝)

実施内容:是川縄文館無料開放、ギャラリートーク、縄文体験コーナー、記念品配布等

○えんぶり鑑賞会

地元是川の妻神えんぶり組による「えんぶり鑑賞会」を令和7年2月に開催

《八戸市立図書館 下半期の主な事業について》

1 八戸市立図書館 150 周年記念事業

(1) 記念グッズの製作及び販売

- ・ トートバック (1,000 円税込)
- ・ クリアファイル (100 円税込)

販売開始 10 月 1 日 (火)

販売場所 図書館本館・ブックセンター



- ・ しおり (非売品)

講演会などの参加者へ配付



(2) 150 周年パネル展

「江戸時代の本の貸し借り」、「八戸書籍縦覧所」、「町立と市立図書館」、「堤町時代の図書館」などを紹介するパネルの展示。

- ① 八戸市立図書館 10 月 1 日 (火) ～10 月 30 日 (木)
- ② 八戸市庁本館 1 階エントランスホール 11 月 12 日 (火) ～11 月 29 日 (金)
- ③ GS GROUP ホールはちのへ (八戸市公会堂) 2 月 9 日 (日)



八戸書籍縦覧所



初代移動図書館車

- (3) 150周年記念モデル利用カード発行
発行開始 11月1日(金) 3,000枚
発行場所 図書館本館、南郷図書館
図書情報センター



- (4) 150周年記念誌の発行
・101年から150年までを紹介した記念誌
・3月発行(予定)

2 第14回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール(八戸市立図書館150周年記念)

今年度に限り150周年特別賞を創設。

募集期間 9月1日(日)～10月6日(日) 表彰式 11月30日(土)

3 市民のための歴史講座(場所:八戸総合福祉会館)

- ① 10月20日(日) 13:30～

演題:読本・近代挿絵の絵師と作品について

講師:八戸クリニック街かどミュージアム 館長 小倉 学 氏

- ② 11月23日(土・祝) 13:30～

演題:八戸市立図書館の源流 一大仲間・八戸書籍縦覧所ー

講師:東北大学東北アジア研究センター 鈴木 淳世 氏

4 秋の読書週間企画展示 図書館150周年記念展「図書館エトセトラ」

期間 11月1日(金)～11月28日(木) 場所 八戸市立図書館1階フロア

5 八戸市立図書館150周年記念 クリスマスおはなし会&工作会

内容 図書館やクリスマスに関する絵本の読み聞かせと折り紙工作。

日時 12月21日(土) ①10:30～11:30 ②13:30～14:30

場所 八戸ポータルミュージアムはっち 3階 和のスタジオ

※本館、南郷図書館、図書情報センター3館合同おはなし会

6 八戸市立図書館150周年記念 体験!一日図書館員

内容 館内見学、図書の貸出・返却など図書館の仕事を体験。今年度は学芸員による図書館150周年の歴史についての。 日程 1月19日・26日(日)(予定)

7 古文書解読講習会

内容 初心者を対象に、郷土に関する史料をテキストとして古文書について学ぶ。

日程 1月～3月 6回 (予定)

8 読み聞かせ講習会

内容 初心者向けの、読み聞かせの仕方についての講習会

日程 2月2日(日)・16日(日)(予定)

八戸市博物館 令和6年度下半期事業概要

1. 特別展・企画展の開催

○秋季特別展「境界線上の彼女たちーねね・鶴姫・南部麻ー」

会期：令和6年10月5日(土)～11月24日(日)

・併催行事：講演会①10月27日(日) 13:30～15:30

「中世女性のワードローブー衣服から髪型、きこなしまでー」

立正大学文学部 教授 佐多 芳彦 氏

②11月16日(日) 13:30～15:30

「武家の相続と女性ーねね・鶴姫・南部麻が担った役割ー」

東北学院大学東北文化研究所 特別研究員 菊池 慶子 氏

: ギャラリートーク 10月13日(日)、11月4日(月・休) 各日 14:00～

: 体験学習会「はじめてのなぎなた」 10月14日(月・祝)、11月2日(土)
各日 10:00～

: 「根城 SHOW TIME」 10月19日(土) 10:30～15:30

・わんだふるぷりきゅあ！キャラクターショー ①10:45～、②14:00～

・戦国ファッションショー 13:00～

・博物館オリジナルグッズ抽選会 ①11:45～、②15:00～

: 館外フィールドワーク 八戸城下めぐりー特別編ー 11月9日(土)

9:00～12:00

○企画展

・新春ミニ企画展「えと展 - へび - 」

会期：令和6年12月7日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

・「えんぶり展」会期：令和7年1月25日(土)～3月2日(日)

併催行事：講演会「えんぶりの見方入門」 2月8日(土) 13:30～15:30

: ギャラリートーク 2月18日(火)・19日(水) 各日 10:00～

・「ひな人形展」会期：令和7年2月15日(土)～3月23日(日)

併催行事：ギャラリートーク 3月3日(月) 10:00～

2. 体験講座

○博物館クラブ(小中学生・親子対象)

・落ち葉であそぼ！～みんなでつくる秋色絵巻～ 令和6年11月3日(日・祝)

・南部風絵に挑戦！～筆を使って描いてみよう～ 令和7年1月11日(土)

・貝びな作り～ハマグリのおひなさまを飾ろう～ 令和7年3月1日(土)

○おとなの博物館クラブ(高校生以上対象)

・染色講座「紅花と紫根」 令和6年10月12日(土)

・資料の取扱方法「刀剣資料」 令和7年1月19日(日)

3. 市民のための歴史講座(博図連携事業) 今年のテーマ「書籍と図書館」

- ・第2講座「読本・近代挿絵の絵師と作品について(仮)」 10月20日(日)
- ・第3講座「八戸市立図書館の源流―大仲間・八戸書籍縦覧所―(仮)」 11月23日(土・祝)
- ・第4講座「公営図書館の成立過程について(仮)」 12月21日(土)

史跡根城の広場(野外学習の場)

- ・史跡根城まつり 10月12日(土) 博物館・根城本丸無料開放
- ・イチョウWeek! 11月8日(金)～17日(日) 本丸無料開放
- ・鎧と小袖姿で記念撮影 11月9日(土)・10日(日)
- ・体験学習講座「新年を彩る正月飾り～広場の季節の素材で作ろう～」 12月15日(日)
- ・史跡根城えんぶり公演 令和7年2月18日(火)・19日(水)

南郷歴史民俗資料館(分館)

1. 企画展の開催

- ミニコレクション展「そば」 会期：令和6年11月30日(土)～令和7年3月16日(日)

2. 体験講座

- 講座
 - ・南郷文化財めぐり(館外講座) 11月15日(金)
 - ・しめ縄づくり 12月8日(日)
- なんごうあそびのひろば
 - ・親子で作るスノードーム 11月24日(日)